

平成26年3月6日
海事局外航課

「第3回日 ASEAN クルーズ振興戦略専門家会合」の結果報告

(日 ASEAN クルーズ振興戦略案について)

国土交通省は、平成26年2月27日(木)及び28日(金)、マレーシア、クアラルンプールにおいて、「第3回日 ASEAN クルーズ振興戦略専門家会合」を開催いたしました。本会合は、日 ASEAN 交通連携のプロジェクトの一つである「クルーズプロモーション」の一環であり、ASEAN 各国政府(海事、港湾、観光担当部局)及び ASEAN 事務局とともに、日本と ASEAN が共同でクルーズの振興を行うための戦略案を議論するために実施しました。結果概要は以下の通りです。

日時:平成26年2月27-28日

場所:クアラルンプール、マレーシア

参加国:

ASEAN 側:カンボジア、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ
ベトナム、ASEAN 事務局

日本側:海事局外航課 角国際海上輸送企画官、福原専門官らが参加し、議長は角国際海上輸送企画官が務めました。また、日本のクルーズ会社を代表して、商船三井客船(株)の山口常務にも参加していただきました。

主な内容:

(1) クルーズ産業の現状

国土交通省より、クルーズ振興政策やわが国の内航クルーズの魅力等を紹介しました。また、商船三井客船の山口常務より、邦船社から見た ASEAN の魅力、改善点などを説明しました。ASEAN 側からはまず、ASEAN 側の取りまとめ窓口であるシンガポールより、ASEAN がクルーズ振興を行う意義について説明し、その後、カンボジア、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、タイ、ベトナムの順にクルーズ船誘致に関する現状及び政策について説明が行われました。最後に ASEAN 事務局より、ASEAN として行っているクルーズ観光開発について説明しました。

(2) 日 ASEAN クルーズ振興戦略案

本会合では、日本と ASEAN が共同でクルーズの振興を行うための戦略案について活発に議論が行われ、最終的に戦略案が取りまとめられました。とりまとめられた戦略案は3月19日から21日までカンボジア、プノンペンで行われる第27回 ASEAN 海上ワーキンググループ会合に報告、議論されることとなりました。戦略案は、クルーズのための観光資源の開発、インフラ整備、人材育成等に取り組んでいくことを内容としています。



(参加者全員による記念撮影)



(会議場全景)

【お問い合わせ】
海事局外航課 角(つの)、内藤
(代表)TEL : 03-5253-8111 (内線 43325、43344) 直通 : 03-5253-8619 FAX : 03-5253-1645